

NK-1000_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。本キットは以下の車種に対応します。
・南海1000系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)



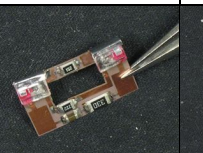
注意
この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

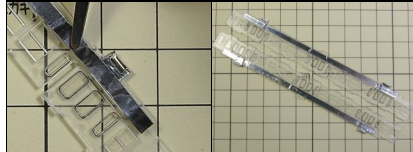

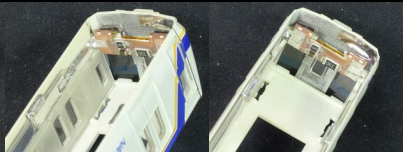
【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・ピンセット	・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)	・ポンチ(プッシュピンなども可)
・プラスチックドライバー	・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・サンドペーパー
・両面テープ	・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・マスキングテープ
・木工ボンド	・ゴム系接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビエ」など)	・ブラモデル用接着剤	・遮光用の塗料(黒及び銀)

●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す 	1-2 屋根を外す 	1-3 側窓を外す 	1-4 前面を外す 	
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	モールドされているアンテナを保護するため屋根を外します。天井両サイドのツメを押し外します。	側窓の端をつまんで内側に倒し、側窓を外します。	※この項目は、前面がうまく外せない場合に作業してください。前面のツメがはまっている長方形の穴の中央にある突起を削り取ります。折り取ったカッターの刃などで注意深く削り取ります。	
2. 加工する				
(1-4つづき) 	1-5 前面透明パーツを外す 	2-1 尾灯の赤塗料の除去 	2-2 ライトレンズを切り取る 	2-3 スカートを加工する 
前面のツメを内側に少しだけ押し、前面を外します。(ツメを折ってしまった場合は、最終的にボディに接着して、リカバリーします。)	前面との隙間に精密ドライバーなどを差し込んで、前面透明パーツを外します。	尾灯部分に塗られている赤塗料を、楊枝などでこすって除去します。(通過標識灯を点灯させない場合は、必須ではありません。)	前面透明パーツからライトレンズ部分を切り取ります。	スカートの脚を、中間の突起の上側で切断します。床板に固定できなくなるので、ゴム系接着剤でボディに取り付けます。(適宜スペーサーを付加します。)
3a. 床板を加工する (トレーラー車の場合)		3b. 動力ユニットを加工する (動力ユニットを組み込む場合)		4. ライトユニットを取り付ける
		4-1 ライトユニットを準備する 	4-2 ライトユニットを取り付ける 	
床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	動力ユニットのスペーサー(Mサイズ)の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	ライトユニットにライトレンズをはめ、両面テープで固定します。	4mm×6mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトレンズの上側から、ライトユニットの裏側にかけて貼り、遮光します。	前面に前面窓をはめ、両面テープで固定します。
5. 配線する				
5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る 				
前面にライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	前面をボディにはめます。(ツメが折れてしまっている場合は、この段階では輪ゴムで前面を仮に固定しておき、すべての作業終了後に、流し込みタイプのブラモデル用接着剤で固定します。)	ボディの横梁に両面テープを貼り、ライトユニットの下側を折り返して貼付けます。横梁の上端とライトユニットに下端が一致するようにします。(ライトユニットの屈曲部をきつく折り曲げると、回路の銅箔が金属疲労で断線するので注意します。)	5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの接合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。	

5-2 側窓下にアルミテープを貼る	5-3 側窓をはめる	5-4 ライトユニットに配線する
		
<p>3mm × 103mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。</p>	<p>側窓をはめます。(床板をはめやすくなるため、両面テープで固定することをおすすめします。)</p>	<p>1.5mm × 16mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。</p> <p>※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p> <p>ライトユニットの給電パッドの通電の確保を期して、2.5mm × 4mmのアルミテープを重ね貼りします。(給電パッドの内側に別回路の細線があるので、そこまで覆わないように注意します。)</p> <p>※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

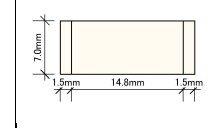

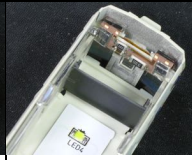
5-5 側窓下の重ね貼り



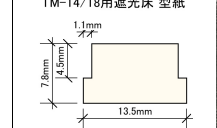
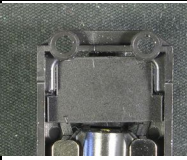
側窓下の通電の確保を期して、3mm × 15mmのアルミテープを重ね貼りします。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

<p>0. パーツを作る</p> <p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	<p>1 棧を取り付ける</p>  <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	<p>2 仕切りを取付ける</p>  <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>
--	---	---

●遮光床を取り付ける(動力ユニットを使用し室内灯を取り付ける場合にお好みで)

<p>0. パーツを作る</p> <p>TM-14/18用遮光床 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	<p>1. 遮光床を取り付ける</p>  <p>動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。</p> <p>前後両端に取り付けます。</p>
---	--

